

第4回協議会における主な意見と対応について

資料1-1



分類	第4回協議会における主な意見	対応	ページ
方向性	○人口減少・高齢化の課題について、健康寿命延伸も大きなテーマである。 ○居心地が良く歩きたくなる都市空間の形成に向けて、中心市街地での自家用車通過抑制や交通渋滞対策についても記載すべきではないか。	街路空間を車中心から人中心の空間へと再構築し、外出して歩くことが健康につながること、過度な自動車利用からの脱却の考えや人と公共交通が主体であることなどについて追記	1,7,8,16 (13)
空間形成	○SMIプロジェクトと連携する他の取組を記載してはどうか。 ○堺都心部の空間づくりやアーケード街の活性化など、SMI都心ラインを少し太い帯として捉えてはどうか。 ○市民目線の将来の暮らしの変化や、ウェルビーイングの向上について示してはどうか。 ○また、それらをスケジュールに反映した方が理解しやすい。	堺都心部の活性化はSMIプロジェクトだけで実現できるものではなく、地域資源等の既存ストック等を活用した都市魅力、目的地の創出などの取組と連携して進めることを導入計画に記載 SMIプロジェクトが連携する事業や連携の考え方、暮らしの変化などの期待される効果について、別途コラム集として整理	11 コラム集
交通	○次世代モビリティに関し、移動の選択肢の幅を広げるとのビジョンが必要。	導入計画の取組内容において、「選択肢を広げる」という主旨を追加	12、14、 15
体制等	○データによりまちの変化を検証し、充実させる仕組みや他部局を巻き込んだ庁内体制の強化が必要。堺都心部の取組や堺市のことをもっと外部へアピールし国の補助制度があるうちに活用して進めるべき。	関係部局とも連携しながら情報発信を図りつつ、データ取得・分析や庁内検討体制の設置、補助金の活用など「推進方策」について追記	19
その他	○パークレットのイメージ図に、車いすやベビーカーのスペースを設けるべき。	ARTステーションのイメージ図を修正	(7)